

報道関係者各位

2025 年 9 月 8 日

福井コンピュータアーキテクト株式会社

3D 建築 CAD システム『ARCHITREND ZERO』 最新版 Version 12 を 2025 年 10 月 15 日（水）に発売

～BIM 図面審査、審査機関協業、リノベ確認申請、ZERO は 2030 年の未来仕様に。～

福井コンピュータアーキテクト株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役 COO：坪田 信）では、最新版の 3D 建築 CAD システム「ARCHITREND ZERO Ver.12」を 2025 年 10 月 15 日（水）にリリースいたします。

建設業界で求められる生産性向上や働き方改革への対応として、「ARCHITREND ZERO Ver.12」では、自社開発の BIM ソフト「GLOOBE」で培った BIM 技術とノウハウを活かし、BIM 図面審査への対応を強化。さらに、2025 年 4 月の法改正に伴う審査時間の大幅増を踏まえ、審査機関との開発協力による審査プロセスの省力化にも取り組んでいます。加えて、リフォーム・リノベーションにおける確認申請業務の作図・計算作業を大幅に削減。各種機能を“2030 年の未来仕様”へと進化させ、設計業務全体のさらなる効率化と生産性向上を支援します。

【最新版のポイント】

■ BIM 技術×図面審査対応

自社開発ソフト「GLOOBE」で培った BIM 技術を活かし、2026 年 4 月スタート BIM 図面審査へ対応。住宅業界の BIM 確認申請時代を先読み — IFC 出力を“標準装備”。

■ 審査機関連携×審査プロセス省力化取組

法改正により審査時間が大幅に増加する中、当社はハウспラス住宅保証様に開発協力をいただき、申請図作成業務の約 10% 効率化と 1 棟あたり最大 1 時間の審査時間削減を目指す取り組みを開始。

■ リノベ確認申請×省エネ仕様基準強化

昨年発売の省エネ仕様基準オプションを大幅強化。2030 年を見据えた誘導基準に対応。さらにリノベーション確認申請部分における機能強化。省エネ設計業務の生産性向上を支援。



【リリース日】

◇ 2025 年 10 月 15 日（水）

【価格（税別）】 ※ARCHITREND ZERO は「IT 導入補助金」の活用が可能です。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

◇ 基本構成：ZERO 基本 ￥900,000 平面図、天井伏図、屋根伏図、配置図、立面図、ARCHITREND Manager

◇ オプション：省エネ仕様基準 ￥200,000 ※オプション動作には ZERO 基本構成と各工法に応じた矩計図/断面図が必要です。

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータアーキテクト株式会社 営業企画課

福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 <https://archi.fukuicompu.co.jp/products/architrendzero/index.html>

Tel：0776-67-8850 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

ARCHITREND ZERO Ver.12 の主な新機能

※掲載画面は開発中のものであり、実際とは異なる場合があります。

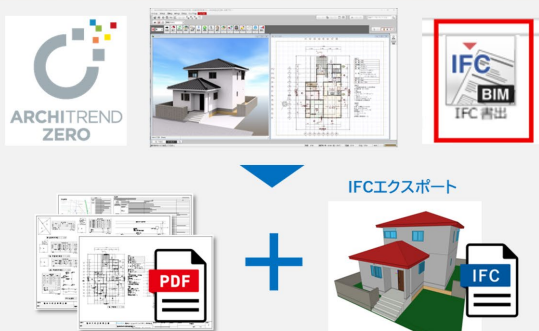
■ 住宅業界の BIM 確認申請時代を先読み — IFC*出力を“標準装備”

2026 年 4 月に始まる BIM 図面審査を見据え、「ARCHITREND ZERO Ver.12」では、立体モデルを IFC 形式で出力する機能を標準搭載。従来の PDF 図面に加え、審査機関と CDE（共通データ環境）を介した情報共有が可能となり、BIM 審査への準備がよりスムーズに進められるようになります。

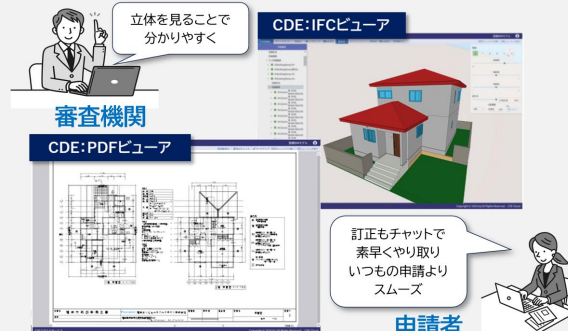
- ◇ BIM 図面審査に向けた IFC データのエクスポートに対応。図面は PDF、立体を IFC で、同時出力が可能。
- ◇ 出力された IFC データは、CDE 上で審査機関が確認。立体を含む詳細情報を共有でき、図面だけでは伝わらない内容も補完され、よりスムーズな審査が可能になります。

*IFC：BIM データをソフトウェア間で共有するための国際標準フォーマット（Industry Foundation Classes の略。）

BIM審査に向けたIFCデータのエクスポート対応



IFCデータをCDE上で審査機関とやり取り



■ 審査機関連携—申請業務の質を高める出力支援機能、確認審査の省力化に向けた取組

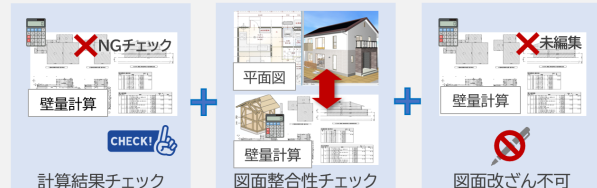
2025 年 4 月の法改正施行に伴い、確認申請の審査時間が大幅増加中です。これを受け、当社は審査機関からの要請を請け、ヒアリングを実施し、特に時間を要する項目を抽出。申請側が負担なく必要情報を出力できる仕組みを構築し、申請図作成業務の約 10%効率化と、申請者と審査側のやり取りの大幅削減を目指しています。第一段階として、審査機関であるハウスプラス住宅保証株式会社様に開発協力をいただき、1 棟あたり 30 分～1 時間程度の審査時間削減を目標としています。本機能は全国の指定確認検査機関でも同じようにご活用いただき、省力化を発揮することが可能です。

- ◇ 木造壁量計算：既存の計算書一括出力機能を拡張。図面と計算結果の整合性・各判定表の最終確認を自動化。すべてのチェックを通過するとスタンプが自動押印。申請前の確認作業を軽減します。設計変更による不意の NG 判定も未然に防止し、不要な指摘の発生を抑えます。
- ◇ 採光・換気・排煙計算：採光計算一覧表の拡張。換気・排煙計算の一覧表を新たに追加。
- ◇ 仕様表(仕様書作成)：審査機関の要望に沿った仕様表を作成。記載箇所の明確化と重複記述の排除によって整合性を高め、審査時間を短縮します。

審査機関が求める仕様表に対応

作図における記載箇所を明確化、重複記述をなくし整合性UP

壁量計算にて計算書一括出力拡張

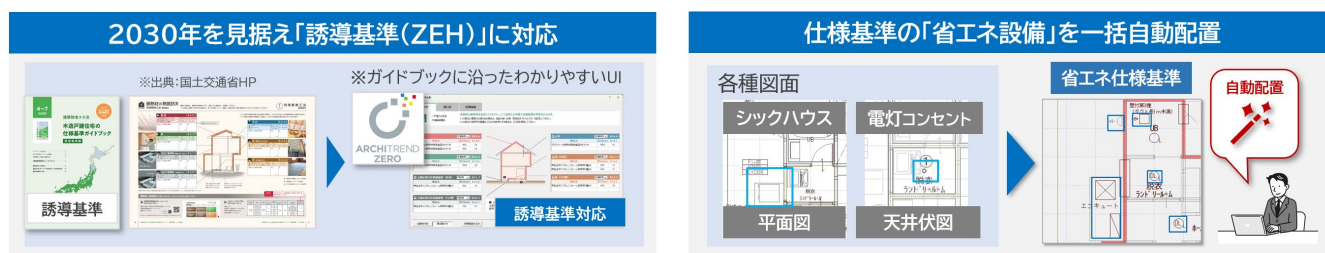


計算書出力時に最終チェック、図書精度向上で手戻りのない図面に

■ 2030 年を見据えた「誘導基準（ZEH）」対応と申請作図手間改善！

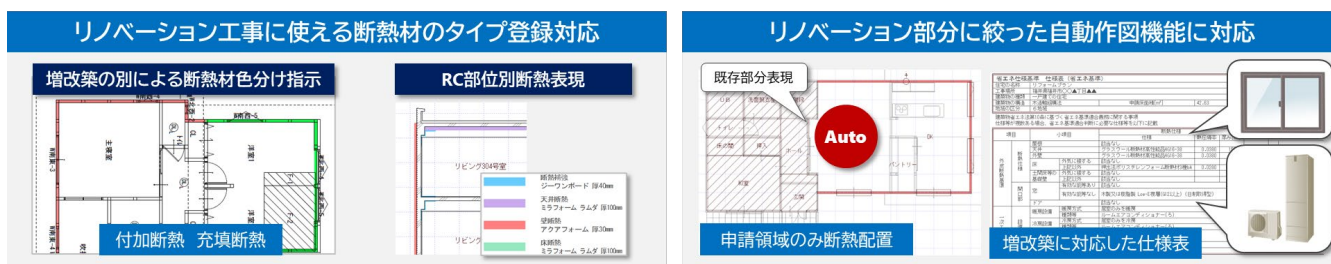
昨年リリースしたオプション「省エネ仕様基準」を今回バージョンアップしました。2030 年の未来仕様の「誘導基準」に対応。高性能住宅の申請手続きをよりスムーズにします。

- ◇ 「誘導基準」に対応することで、性能評価、長期優良や低炭素などに活用できます。
- ◇ 「省エネ設備」の一括自動配置機能を新たに追加。データ入力を省力化します。



■ リノベーションにおける「省エネ基準適合」確認申請に対応！

- ◇ RC 造の断熱リノベ時に活用できる付加断熱と充填断熱の色分けや、断面図への指示記載が可能。
- ◇ 申請領域にあわせた自動作図機能追加。設備や開口部一覧、面積表も増改築に対応。

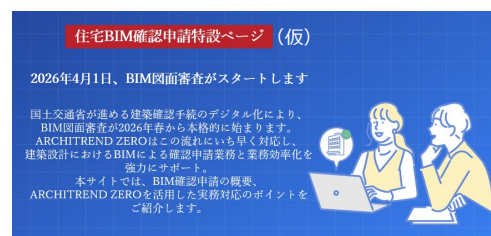


■ その他

- ◇ 立面図：法規 LVS での遮蔽物高さ表記 & 遮蔽物候補選択
- ◇ 木造壁量計算：多雪区域での基準法、積雪考慮。柱の有効細長比の拡張
- ◇ 外皮性能計算：自動配置拡張（玄関・浴室・バルコニー下などの仕様登録）

■ 住宅 BIM 確認申請ページを開設予定！

ARCHITREND ZERO Ver.12 リリースに合わせて弊社公式ホームページに「住宅 BIM 確認申請」と題して、IFC とは？ BIM 確認申請とは？などを解説した特設ページを開設、審査期間短縮に取り組まれるお客様に有益な情報を提供してまいります。



住宅情報発信イベントのご案内

ARCHITREND ZERO Ver.12 リリースを記念して、2025 年 10 月 17 日(金)に『超・確認申請セミナー～実務者が語る BIM 審査・法改正・リノベ対応の最前線～A-Style フォーラム Vol.15』を開催予定です。法改正の実情や最新バージョンのご紹介などオンライン開催を予定しておりますのでお気軽にご参加下さい。

■ 詳細・お申込み ▶ https://archi.fukuicompu.co.jp/event/detail.php?rec_id=17732

